さくら級 生活単元学習指導案

1 単元名 みんなにインタビュー！

2 単元評価基準 (特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)より)

<国語科>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習の取り組む態度
伝え合う体験を通して、 ①読むことができる文字を増やすことができる。 ②いろいろな言葉の種類に触れることができる。 ③言葉による表現を楽しむことができる。(2段階、内容Aの(イ)(ロ)及び内容1の(イ))	「聞くこと・話すこと」において、 ①語句と事柄を結びつけたり事柄を思い浮かべたりすることができる。(2段階、Aア) ②伝えたいことを考え、相手に伝わりやすい語句や発音・声の大きさに気を付けることができる。(3段階、Aカ)	相手の話に関心を持ち、 ①相手の方を向いて、話の大体を聞き取ろうとする姿がある。 ②自分の思いや考えを相手に伝えたり、受け止めたりしようとする姿がある。

<自立活動>

心理的な安定	人間関係の形成	コミュニケーション
・安定した情緒のもとで学習することができる。	・担任やさくら級の教員、児童との関わりから、少しずつ交流級担任や児童との関係をつくることができる。	・聞き手を見て話したり、話し手を見て聞いたりして、コミュニケーションの基礎的態度を養うことができる。

3 教材のとらえ

本単元では、先生方や友達にクイズを出したり、インタビューをしたりすることで、言葉のキャッチボールを楽しみながら話すことに苦手意識のある児童が話す楽しさを知り、自信を持って話せるようになることを期待している。また、丁寧な言葉で話すことや話を聞くときは大事なことを落とさないように聞くことなど、人と話すときの基本が身に付けられるように進めていきたい。さらに、可能であれば、インタビューした情報をもとに表にまとめたり、グラフに表したりして、算数の学習につなげていければと考えている。

まずは、さくら級でペアになり1対1のインタビューを練習し、その後もスモールステップで徐々に人数を増やしていき、最終的には交流級の友達にインタビューできるようにしたい。さくら級で少人数からスモールステップで進めていけば自信をもって話せるのではないかと考える。

これまで、国語では「これはなんでしょう？(絵あてクイズ)」、自立活動では「さくら級の友達にインタビューしよう!」を行い、算数では、ダーツをしながら、点数を表にまとめることをしてきた。

4 本時の目標と評価

	A	B	C	A	B	C
本時の目標	・聞き手を見てインタビューをしている。 ・集中して話を聞き答えを考えている。	・安定した情緒で課題に取り組んでいる。 ・大事なことを落とさないようにクイズを聞き答えを考えている。	・聞き手を見てインタビューをしている。 ・大事なことを落とさないようにクイズを聞き答えを考えている。	・安定した情緒で課題に取り組んでいる。 ・落ち着いた友達の話聞き答えを考えている。	・聞き手を見てインタビューをしている。 ・集中して話を聞き答えを考えている。	・聞き手を見てインタビューをしている。 ・大事なことを落とさないようにクイズを聞き答えを考えている。

個別の支援	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。	・自信が持てない様子が見えたときには側で支援する。
	・良い発言ができた時は、紹介をして褒め、自信を持たせる。	・クイズを聞くときには、視覚支援をする。	・良い発言ができた時は、紹介をして褒め、自信を持たせる。	・良い発言ができた時は、紹介をして褒め、自信を持たせる。	・クイズを聞くときには、視覚支援をする。	・良い発言ができた時は、紹介をして褒め、自信を持たせる。

5 本時の指導

学習活動	教師の支援
<p>1 本時の活動の確認をする。</p> <p>2 先生方にインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの時に注意することは何か確認する。 ・先生方のそばに言ってインタビューする。 ・ワークシートにインタビューしたことを書く。 <p>3 クイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いてクイズを聞く。 ・順番になったら話し方に気をつけてクイズをだす。 <p>4 感想を言い合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが持てるように掲示する。 <ul style="list-style-type: none"> 1, はじめに先生方にインタビューします。 2, クイズを出します。 ・声の大きさなど話し方の基本を確認する。 ・話型のかいてあるワークシートを使う。 ・不安な児童には支援者がついて支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・クイズは5つのヒントを聞いてからでないと答えられないことや声の大きさ、話し方など確認しておく ・分からないときには、質問をしても良いことにする。 ・クイズをだす順番を確認しておく。 ・必要な児童には視覚支援をする。 ・先生方の名前は掲示等しておく。 ・参観の先生方にも答えていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを出してどうだったかや友達の良いところを話し合っ次時につなげる。 ・良かったところを中心に話し合い成功体験や自信をもたせる。